

平成 24 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	情報処理 I	担当教員	小川信之		
学年学科	第 3 学年 建築学科	後期	必修	1 単位	
学習・教育目標 ( D - 2 ) 1 0 0 %					
<b>授業の目標と期待される効果：</b> 近年の情報化社会の中、コンピュータを中心とした情報処理は建築においても非常に重要となっている。本教科では建築に関わる技術計算に加え、CAD 関連の計算基礎とコンピュータに関する基礎的な知識を学修する。 (1)BASIC によるプログラミング技術 (2)CAD 利用のためのコンピュータの基礎知識 (3)Excel による数値計算			<b>成績評価の方法：</b> 前期：試験 80 点満点 + 課題 20 点満点 試験と課題の総得点率 ( % ) によって成績評価を行なう。  <b>達成度評価の基準：</b> ( 1 ) ~ ( 3 ) を基準とし、教科書や試験問題と同レベルの問題で出題し、6 割以上の正答レベルに達していること。なお成績評価への重みは(1)40%、(2)10%、(3)50%とする。 (1)BASIC を用いて分岐・反復・配列など基本的なプログラムを作成できること。 (2) CAD 利用のためのコンピュータの基礎知識を身につけること。 (3) Microsoft Excel を用いた建築に関する数値計算ができること。		
授業の進め方とアドバイス：授業は演習を中心に行うので、自ら積極的に取り組む姿勢が重要である。前期前半はポケコンを使用するので、準備しておくこと。					
<b>教科書および参考書：</b> 教科書：Excel コンピュータシミュレーション ( 森北出版 )					
<b>授業の概要と予定：前期</b>					
第 1 回：CAD 利用のためのコンピュータの基礎知識					
第 2 回：ポケコンによるプログラミングの基礎					
第 3 回：BASIC プログラミング ( INPUT、PRINT、END、GOTO 文 )					
第 4 回：BASIC プログラミング ( 関数を使うプログラム、IF ~ THEN ~ ELSE )					
第 5 回：BASIC プログラミング ( FOR ~ TO ~ STEP、NEXT、REM、READ、DATA、RESTORE )					
第 6 回：BASIC プログラミング ( GOSUB ~ RETURN、配列 )					
第 7 回：BASIC プログラミング ( プログラムの応用 )					
第 8 回：中間試験					
第 9 回：コンピュータの基礎知識					
第 1 0 回：Microsoft Excel を用いた表計算活用 ( 基礎編 )					
第 1 1 回：Microsoft Excel を用いた表計算活用 ( 応用編 )					
第 1 2 回：Microsoft Excel を用いた問題演習					
第 1 3 回：Microsoft Excel を用いた数値計算 ( 基礎編 )					
第 1 4 回：Microsoft Excel を用いた数値計算 ( 描画の応用編 )					
第 1 5 回：Microsoft Excel を用いた数値計算 ( 演算の応用編 )					
<b>期末試験</b>					
第 1 6 回：フォローアップ ( 期末試験の解答の解説など )					